

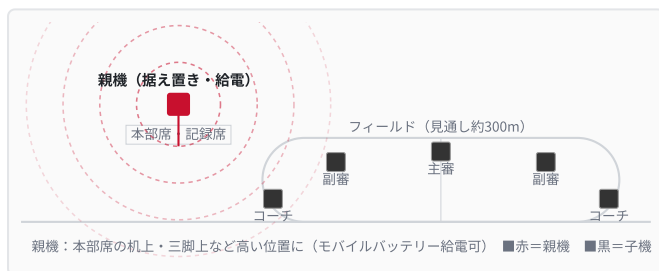
スポーツ審判・コーチ

屋外のグラウンドでも見通し約300m。親機は本部席に、審判はホイッスル音を抑えるレフェリーマイクで。



親機の設置場所

1. 本部席・記録席・ベンチ後方のテーブルや三脚の上など、フィールド全体を見渡せる高い位置に親機を据え置きます。
2. 屋外で電源が取れない場合は、モバイルバッテリーで給電しながら運用します（親機はパススルー給電対応）。
3. 複数コート・複数フィールドで同時に使う場合は、コートごとに親機を分け（最大6グループ）、親機同士を離して設置します。



構成例

親機（据え置き）	1台	本部席・記録席に設置
子機（審判団）	3～4台	主審・副審・第4の審判など
子機（コーチ陣）	2～3台	監督・コーチ・アナリスト
推奨マイク	SSH-1124	レフェリーマイク（ホイッスル音抑制・常時通話）

運用のコツ

- レフェリーマイク SSH-1124 はPTTボタンなし。子機をオープンモードにして、ホイッスルを吹きながらそのまま会話できます（マイクブームは右専用、イヤホンは左右どちらでも）。
- IPX5防水のため雨天の試合でも使用可能。子機はベルトの側面など、親機から見通しの良い位置に装着します。
- コーチ陣はタイピンマイク SSP-1130 やBluetoothヘッドセット VEXA で参加できます。

推奨マイク・ヘッドセット



SSH-1124
レフェリーマイク
対応騒音 屋外・ホイッスル
ホイッスル音抑制マイク。イヤホン型
体・PTTボタンなし（常時通話向け）。



SSP-1130
タイピンマイク
対応騒音 ～80dB
胸元に装着するコンパクトなタイピン型。PTTボタン付き。



SSW-1121
VEXA（Bluetoothヘッドセット）
対応騒音 ～80dB目安
オープンイヤー・ボイスコマンド対応。ケーブルなしで両手が自由。

※ 設置方法は一般的な目安です。実際の通信距離・安定性は建物の構造や周囲の電波環境により変わります。価格・納期はお問い合わせください。